

令和元年度事業計画

1. はじめに

平成30年版高齢社会白書によりますと、我が国の高齢化率は27.7%で世界最高水準を維持しています。山口県は全国で4番目となる33.4%、山口市は28.8%ですが、市中心部以外では40%～50%を超える地域もあり、高齢化は年々進展し地域衰退の危機が深刻になっています。

一方、出生率の低下による少子化の影響で、生産年齢人口の減少や社会保障費の増大という社会的ジレンマを抱える中で、人生100年時代といわれる超高齢社会において、いかにして健康寿命を伸ばしていくかという新たな課題も抱えています。

こうした中で、国は年齢に関わりなく働ける社会を目指して構造改革を図るとともに、本格的な少子高齢社会や人口減少に伴って生じる地域の課題に対応する施策の中で、地域の高齢者が集うシルバー人材センターへの期待はますます高まっており、当センターにおいても、地域が抱える様々な課題や人手不足分野の解消等に向けて、行政や各関係機関と連携していきます。

今年度、当センターは第4次中長期計画の1年目として、事業の拡大、特に会員の拡大に向けて役職会員が一丸となって取り組み、社会を支える担い手として共に働く仲間を増やすための事業を行います。また、女性会員を増やすためにシルバー人材センターを理解していただけるPRやイベントを開催します。

シルバー人材センターの会員として、就業やボランティア活動等を通じて健康を維持しながら生きがいや社会の一員として充実した生活を送ることで、高齢者として心豊かな期間を過ごすことは健康寿命を延ばすことにもつながります。当センターは公益法人として「自主自立」「共働共助」の基本理念に基づいた公益目的事業を行い、地域社会の維持・発展に貢献していきます。

令和元年度は、次のように事業実施計画を策定します。

2. 事業実施計画

(1) 公益目的事業の推進

① 就業分野と会員の拡大

第4次中長期計画による目標値

目標会員数	1,356人（女性会員比率34.0%）
就業延人員	112,166人日（派遣事業含む）
就業率	95.9%（派遣事業含む）
受託件数	12,593件（派遣事業含む）

ア、山口県シルバー人材センター連合会が実施する高齢者活躍人材確保育成事業での一般高齢者を対象とした講習会や就業体験事業に協力し、就業分野と会員の拡大を図ります。

イ、女性会員を増やすために、「女性限定セミナー」を開催し、シニア女性向けの講習とセンター事業の説明・入会手续を行い、女性会員の拡大を図ります。これとは別に、シニア女性向けのビューティイベント「きらめき世代講座」を行い、女性の入会を促進します。

- ウ、全国シルバー人材センター事業協会が提唱する 100 万人会員を目指して、「会員ひとりが一人を勧誘」をテーマに全会員が取り組みます。
- エ、加齢等による会員の退会を抑止する試みを検討します。
- オ、地域からの信頼に応えるために、会員一人ひとりが公益法人の一員であることを自覚し、就業マナー等を守って責任のある仕事を行います。
- カ、入会希望者の利便性を高めるために、入会案内（事業説明）会に引き続いて入会手続会を実施するとともに、入会意欲を高めるために求人中の仕事情報をタイムリーに紹介します。
- キ、昨年に引き続いてお客様満足度調査を実施し、センターのサービス向上に活かします。
- ク、入会意欲を高めるために、リーフレットは半年毎に刷新して最新情報を掲載します。

② 普及啓発活動とボランティア活動

- ア、全国シルバー人材センター普及啓発月間（10月）に合わせて、市内のスーパーマーケット等、シニア世代が集まる場所で普及啓発活動を実施します。また、昨年台風により中止となったシルバーフェスタについては、天候に左右されずに開催できる内容を検討します。
- イ、市報「やまぐち」に入会案内（事業説明）会や各種講習等の募集記事を掲載依頼します。
- ウ、公益目的事業を推進するため、広報紙「すこやか」を年2回発行します。
- エ、タウン紙に入会案内会やイベント等の事業広告等を掲載します。
- オ、イベントや講習会等の実施にあたっては、プレスリリースによってマスコミに情報提供し、メディアによる報道に努めます。
- カ、ホームページは最新情報の掲載に努め、センターで行う各種事業の情報を発信します。
- キ、地区会による自主的な普及啓発活動を促進します。
- ク、11月23日の勤労感謝の日にパークロード中央ボランティア清掃活動を行うほか、各地区会等においてもボランティア活動を行います。

（2）会員研修と技能講習会の実施

① 会員研修の実施

- ア、公益法人としてコンプライアンスを推進するため、新入会員には、「新入会員必修研修」の受講を義務付け、会員としての意識付けを図ります。
- イ、地区会及び職群班では、安全就業や交通安全のほかに、振り込め詐欺防止や健康増進につながる研修等を行うとともに、仲間作りや新たな出会い作りは生きがいの充実にもつながることから、親睦活動を促進します。

② 技能講習会の実施

- ア、公益目的事業の推進と技能等の習得を目指して、会員と一般高齢者を対象とした講習会を実施します。
- イ、上記講習会で講師を務める会員のスキルアップを図るため、指導員等養成講習会

を実施します。

(3) 安全・適正就業の推進

- ① 剪定班や草刈班、及び一般軽作業グループ等による安全推進集会を実施します。
- ② 安全・適正就業委員及び地区安全推進員等による安全パトロールを実施します。
- ③ 安全・適正就業基準に沿った就業を推進し、剪定班や草刈班ではチェックシートによる安全点検を実施します。
- ④ 事故が発生した場合は、速やかに事故調査委員による現場立ち入り調査等を行い、原因究明や再発防止策を講じるとともに、安全・適正就業基準指導要綱に沿って指導します。
- ⑤ 適正就業ガイドラインに沿って適正就業を推進します。
- ⑥ 会員就業規約及び就業基準要綱等に沿ったローテーション就業及び分かち合い就業に努めるとともに、「シルバーだより」等で分かち合い就業を推進します。
- ⑦ 「安全就業便り」等で安全就業や交通安全の呼びかけ及び、市の特定健康診査の受診や健康管理を呼びかけます。

(4) 健全な財政運営とガバナンス及び関係機関との連携

① 健全な財政運営とガバナンス

ア、公益法人として義務付けられている関係書類等を山口県知事に提出するとともに、収支相償に適合した財政運営を行います。

イ、法令及び定款に沿った運営を行い、総会や理事会の運営についてもガバナンスを徹底します。

ウ、第4次中長期基本計画に沿って事業を運営します。

② 関係機関との連携

ア、行政及び議会には事業の支援を要請するとともに、指導及び助言を受けた場合は適切に対応します。

イ、老朽化した事務所での業務運営は、震災等により事務機能がストップする恐れもあることから、移転や改築については引き続き山口市に要請します。

ウ、空き家等が社会問題となっている状況の中、山口市との空き家等の適正な管理の推進に関する協定に基づき、空き家等の管理業務を行います。

エ、生涯現役促進地域連携事業への取り組みを山口市に提案します。

オ、派遣事業において、要件緩和の特例による県知事の業種指定の可能性を山口県シルバー人材センター連合会と協議します。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の実施

少子高齢化によりさまざまな分野で労働力不足が進行する中、サービス業等の人手不足分野及び現役で働く世代を支える分野における就業促進は地域経済の維持・発展のためにもますます重要となることから、これらの分野の就業をより一層拡大して派遣登録会員を増やし、衛生委員会において会員の健康増進等に関する協議を行います。

また、受注量の増加に伴う派遣元責任者、衛生管理者の増員を図り態勢を整えます。

(6) 入会相談、情報の提供

- ① 入会を希望する高齢者に対しては、入会案内（事業説明）会及び入会手続き会において、公益目的事業を実施するセンターの内容等を詳しく説明して入会促進に努めるとともに、スーパーマーケット等での普及啓発活動やシルバーフェスタ等においてもリーフレット等を活用してセンター事業の内容を説明します。
- ② メディア等への情報提供により、当センターが行う公益目的事業の周知に努めるとともに、問い合わせや事務局に就業等の相談に来られた高齢者に対しては、センター等の情報を提供します。
- ③ 山口市やハローワークが主催するアクティブシニア関連のセミナー及び合同就職面接会に参加し、センターの情報を提供します。